



箆笥の中のユニコーン —欧州発 C to C、Vinted—

すずき ようこ
鈴木 庸子 ●在イタリア日伊語通訳翻訳家

2週間の冬休みに入ろうというクリスマス直前、娘が数学の教科書を紛失した。

ただでさえ出費がかさむこの時期に、41.7ユーロ（約6,700円）の臨時出費は痛手である。しかし、何よりも頭を悩ませたのは、その再購入手段だった。中学・高校の教科書販売は、基本的に新学期開始前後数ヶ月の期間限定であり、この時期店頭これを並べる本屋は無い。イタリアの殿様商売の代表的存在である教科書出版社に問い合わせ、在庫があったとしても、事務処理と物流が滞るバカンス期。いつ届くことになるやら…。

確実なのはAmazonか、と携帯を手にした時、ふと、画面に並んだアプリの一つが目にとまった。緑の背景に浮かぶ白のV。Vinted（ヴィンテッド。以下V）である。

Vとは、中古のファッションアイテムを主軸としたC to Cオンラインプラットフォームである。スタンスは少々異なるが、いわば欧州版e-Bay、あるいはメルカリ的存在とお考えいただきたい。

アプリを立ち上げ、ISBNで検索すると、お目当ての本が写真付きで10冊ほど現れた。価格は、5～25ユーロ。安堵するとともに、あっけなく解決しそうな展開に、意表を突かれた。

私がこのアプリに登録したのは、去年のことだ。少なからぬ友人が利用していたので、とりあえずプロフィールは作成したものの、時折ウインドーショッピングを楽しむくらいの距離でいたのだが、こんな卑近な問題解決能力も秘めていたとは…。

興味を惹かれて調べてみると、このV、かなりユニークかつ注目を集めている存在であることが分かった¹。

2008年、リトアニア。22歳の女性Milda Mitkuteが、とあるホームパーティで幼馴染の男性Justas Janauskasと再会する。その際彼女は、近々引越しの予定だが、手持ちの服全ては持って行けず、整理を迫られていると漏らした。その後、プログラミングをかじっていた彼と会話を重ねること、2週間。彼女の服100着を、友人たちに売却するためのサイトが形になった。これが、Vの核となる。

丸腰の素人による突貫工事の産物だったため、少々素っ頓狂な出来（購入クリックボタンの搭載を忘れたとか）ではあったが、このサイトは評判を呼び、ほどなく個々人が箆笥の中身を売買できるシステムとして確立。そのサービス網は国内、そしてイギリスを含む欧州各国へと伸長し、取り扱いカテゴリーも娯楽、家庭用品、ペット用品まで拡大²するうちに、母国のユニコーン企業第一号の座を獲得（2019年）。現在そのネットワークは欧州の二十数ヶ国を網羅し、ユーザー登録者数は、8千万人を記録した後も増加を続けている。

リトアニアの首都ヴィリニウスに本社を構えるVグループの2023年の売上高は、前年比61%増の5億9,630万ユーロ（約976億円）で、うち純利益1,780万ユーロ（29億円強）。企業価値は、実に50



億ユーロ（約8,180億円）。押しも押されぬ、
一大IT企業だ。

その最大市場は、2013年に上陸したフランスで、
イタリアは、2020年からVの恩恵に浴している。

件の本は、結局「間違っ購入したので、新品・未使用」という端的な解説がついた一冊を、提示価格（20ユーロ）で購入することにした。支払い総額は、25.49（商品代20、購入保護料（商品の約3～8%）1.7、送料3.79）ユーロ。3日で届いた実物は、解説通り手が切れそうな新品だった。バカンス期に早急に送付の労をとってくれた売り手に感謝のメッセージを送り、5つ星（最高評価）のレビューを付ける。ハグの絵文字が返って来た。

この本を入手した翌週、私はフランス語の大型本を出品してみた。写真その他と併せて、フランス語版であること、概説、状態や特徴などを、念のため英語で書き込んでアップロードすると、2分後にフランス語で問い合わせが届いた。その下

に表示された翻訳ボタンをクリックしつつ、こちらはイタリア語で応答すると、ものの10分で売買と一切の事務処理が完了。展開の速さと容易さに半信半疑だったが、5日後に購入者からC' est parfait！（フランス語で「完璧！」）のメッセージと、我がV内ウォレットへの振り込み（売却した商品の全額）、そして星5つのレビューが届いた。こちらとしても、完璧！である。

Vでは、例えば私がスペインのユーザーに注文した場合の送料は、イタリア国内へ注文した場合のそれに対し、わずか1ユーロ強が加わるに過ぎない³点も、言及しておこう。アイテムが、ボーダーレスに行き交う所以だ。眉に唾を塗りつつも、何やら、大陸のどこかに眠っているお宝を探して手に入れよう、という言う気も湧いて来る。

「セカンド・ハンドを、ファースト・チョイスに」－これが、Vのモットーだ。我が家の教科書や参考書の購入先の筆頭は、すでに本屋/AmazonからVに置き換わった。

註：

1. 参照：Vinted | Sell and buy clothes, shoes and accessories, (<https://www.vinted.com/>)
Forbes, 25/10/2025 Vinted's Unstoppable Growth-Can Customer Care Keep Pace With Ambition?, (<https://www.forbes.com/sites/katehardcastle/2024/10/25/vinteds-unstoppable-growth-can-customer-care-can-keep-pace-with-ambition>)
2. 2024年末、これに電子製品も加わった。また、一部規制はあるが、新品も売買できる。
3. 小型アイテムの場合。なお、この廉価な郵送網を不正使用する輩もいるようだが、今のところV側が規制する動きはない。